

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2008 2.10
No.959

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

「憲法と暮らしを守る
春の県民大集会」

3月16日(日) 11:00~
久屋市民広場



自治労連愛知県本部は1月26日(土) 国際センターホールにて第100回臨時大会を開催しました。県本部結成60年、そして第100回の大きな節目の大会を迎え、08国民春闘をたたかう方針を、代議員の積極的な発言で確認しました。(以下発言要旨)

梅野委員長 あいさつ

100回の大会、そして県本部60年の節目の年。諸先輩方が築き上げた、労働者・住民の利益を守ってきたかつてきた到達点を守り、さらに前進させていく

60年の節目の年として 大いに奮闘しよう

決意を、みなさんと一緒に固めたい。

憲法守れ、戦争する国にするな、貧困と格差をなくし、非正規・関連労働者など、すべての労働者の賃上げと労働条件改善に全力をあげる。このたたかいを労働者と住民、青年・女性・

貧困と格差の是正めざす 08春闘 県本部第100回臨時大会

御津町・音羽町との合併で、170人の組合対象者が生まれた。組織化に向けて定期的な朝ヒラ、説明会、各戸訪問を行った。説明会の中で雇用や仕事の不安な

月3日の憲法集会所もがんばってとりくむ。関連労働者の処遇改善にも力を入れたい。住民や仕事をつづけて社会を良くするために、1年雇用ではなく、住民とのつながりや技術継承などしていくことが大事。

組合で精力的に組合加入へ
下地代議員(豊橋市職労)

要求書で職場改善
山田代議員(豊橋市職労)

来年度の全員雇用確保
森代議員(一宮市労組)

職場・地域をりななをりなげよう

るために、署名活動に力を入れて取り組んでいる。組合員に広く情勢を知らせ、問題意識を持ってもらい、単組の組織強化はもちろ

本庁47分会のうち9つの分会で、深刻な人員問題がでた。ヒアリングをおこな

市民病院について。当局は赤字を理由に市民病院を

憲法署名1人10筆をやりますと決めた。まわりのひとに返信用封筒をつけて署名用紙と一緒に送る。5

伊藤代議員(小坂井町職労)

非正規雇用の賃金の底上げをすることにより、正規

尾西清掃分会について、全員を来年度も雇用するとい

憲法闘争にも全力
村田代議員(名古屋職労)

組織の活性化にむけて
元気ががんばる春闘を

中根代議員(蒲郡市職)

08春闘は4つの大きな課題を設定してとりくむ。地

高齢者との共同したたたかいで発展させる。08春闘で大いに奮闘して新しい歴史をつくりあげよう。

ど、さまざまな意見が出された。2月1日に歓迎会を開催。昨日は、保育士が加入した。まだ2桁なので、これからも精力的に組織拡大へ奮闘していく。



ビス残業の是正がされた。分会運動が本庁ではなかなか進まなかったが、役員が後押しする形できめ細かくやった結果、大きな成果がでた。今後も職場や分会を中心とした運動を続ける。

いつもたたかいは先頭に 賃金の底上げと働くルールの確立

職場から要求実現と組織拡大の発言

新規採用者

全員組合加入

丹羽代議員(名水労)

業務技師の新規採用について、各分会から要請行動をおこなった。1月4日に32名の新規採用者を迎え、新規採用全員の組合加入が実現。直営力による技能技術の継承をはかることを取り組みの重点にし、住民から求められ信頼される働き方、公務公共性の発揮を追求することを春闘で取り組む。

医療を守る

風を起す

見田代議員(公立尾陽労組)

生活改善を基本に

脇坂代議員(港職労)

組合として「港の軍事利用反対・非核の港をめざす10・10平和シンポジウム」を開催した。港湾や、私たちがとりまく状況は常に変化している。情勢を学習し職



場から組合活動を原点に、組合員と家族の生活改善を基本とした春闘にしたい。

未加入者の組織化

鈴木代議員(半田市職)

組織化について、執行委員を中心に具体化した。本庁の未加入者に対し加入申込書と手紙をわたす。担当者を中心になり、職場のなかで手渡した。10人目標で6人が加入。保育園分会の組織もすすめている。

労働条件の改善と正規職員の補充を

鬼頭代議員(武豊町職)

地域手当守れと、町長宛の要請書を提出。なんとか来年度は現状を維持することができた。

職場では、正規306人、臨職220人。その中でもとくに保育士が100人くらい臨時職員。さまざまな職場で業務の個人化がすすんでいる。臨時職員の労働条件の改善と正規の補充を春闘でたたかう。

誇りを持って

仕事がしたい

春木代議員(名古屋市中職労)

保育園・病院・ごみ収集

職場から語る08春闘

職場討議を軸に組織強化

港 職 労



春闘についてかたる
高木書記長

憲法署名や非正規の組織化など、こころひとつにがんばっていききたい。

消防広域化

について

神原代議員(豊橋市職労)

東三河については、消防団の活動のたすけがなければ地域の安全は守れない。東三河自治研と共同して消防の広域化問題について取り組んでいく。

組織の要求と

団結を高めて

村松代議員(豊橋市職労)

給料表、通勤手当の改善で前進。ラス100%になるよう努力すると回答させた。労使関係の発展、職場からの要求運動活動をすすめて、組織の団結と要求を高めていく。

住民アンケート

続々と

牧野代議員(新城市職労)

市民病院について住民アンケートに取り組んだ。公立病院としての役割を発揮

執行部のまとめ

県本部伊藤書記長

してもらいたいと市長に要請。東三河の5病院で医療を守る運動を連携して取り組んできた。

組合活動を本庁の職員にも知らせていくことを組織的にはじめ、2名が加入した。今後運動を広げる。

尾陽病院・新城の発言からも、医師不足などが問題になっている。住民のいのちとくらしを守る立場から、運動をしていく。自治

研活動の強化にむけ、職種別懇談会などへの参加。住民との共同。憲法9条・25条を含めた憲法擁護の取り組みをすすめていく。

職場で組合員と議論をしながら要求をまとめ、運動を起す。この運動を組織強化と結びつけて、たくさんの仲間を迎え入れ春闘をすすめる。

課ごとの分会単位の議論を軸に運動をすすめる。組織強化に結びつけることが課題です。

「今、職場オルグをしていると、組合員は情報をほしがっています。育休代替の人員問題や、福利厚生など要求をきかんとあげていき、自分の仕事と生活に関連性を持ちながら誇りをもつてはたらく春闘をめざし、職場から運動をひろげていきたいです」と高木書記長は力強く語っていました。

港職労の職場からの春闘がスタートです。

いよいよ団塊の世代の大量退職はじまります。今のうちに先輩から後輩への引き継ぎをしつかりしなくてはと思います(箕浦磯一・学事労)

26年間の勤めが無事に終わりそうです。感謝、感謝です(細田みゆき・瀬戸市職労)

どこまで上がる原油高。米軍ではなくぜい我が家に給油を!(高木英樹・名古屋市中職労)

最近、冷え込みが激しく風邪をひいていました。体は健康が一番だとつくづく感じます(彦坂浩二・豊橋市職労)

職場に新しいパソコンが入りました。機器は増えるけど人は増えず。機械オンチの私としては・・・(山本淳哉・知立市職労)

長男長女で夫婦になった私たち、両方の親と一緒に住むようになり、初めてのお正月。とてもにぎやかに過ごしました(倉科桂子・春日井市職労)

古紙配合率の偽装が問題になっているが新聞の折り込みみラシの膨大なムダをなんとかしてほしい(杉本一夫・名水労)

単組定期大会

役員紹介

蟹江町職労(1月25日)

執行委員長 伊藤 満

副執行委員長 二村 和弘

書記長 宮波 峰子

会計 奥村佐代子

職場の声